

小学生が「大学」へ！開学したばかりの 武雄アジア大学で特別授業

～授業をキャンパスで実践。新しい学びの形を体験～

武雄市では、子どもたちが地域の資源を活かし、主体的に学ぶ姿勢を育む教育を推進しています。このたび、令和8年4月に開学した「武雄アジア大学」において、武雄市立御船が丘小学校が、校外学習の特別授業を実施します。

授業では、新たに学校区内に誕生した大学キャンパスを実際に訪れ、大学教員による講義を体験。学校とは異なる施設の役割を肌で感じ、新しい発見の喜びを味わいながら、情報の集め方等について学びます。学生も子どもたちの学習に参加します。開学間もない大学と地元の小学生が交流する、「知の連携」の第一歩をぜひ御取材ください。貴報道における取扱いについて、御高配賜りますようお願いいたします。

- 参加者：武雄市立御船が丘小学校 6年生（106名）
- 日時：令和8年5月8日（金）10：35～11：50
- 場所：武雄アジア大学（301号室）
- 講師：東アジア地域共創学部 久保 知里 准教授
- 内容：教科と学習の目的

【国語科】身近な教育施設として、武雄アジア大学での授業を体験し、その感想をまとめる。小学校とはちがう施設において、多くの情報を集めたり、新しい発見を自ら探して記録したりすることを学ぶ。今後教科の学習やふだんの生活の中で、市内にある様々な施設が自分の学びに関係していくことを知る。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武雄市子ども教育部 新しい学校づくり課 TEL 0954-23-8010